



月刊 おかじょうき

<http://www.okajoki.com/>

2020

8

無人駅鑑賞「カンテラ」 むさし	4
会員雑詠集「無人駅」	9
■例月句会結果■	
おかじょうき川柳社 7月誌上句会	20
川柳吟行会「ぼ」	26
十和田たてがみ川柳会 6月句会報	24
■連載■	
「深艘心理」 奈良一艘	8
Infomation	30～

カンテラ

むせし

7月10日、青森市で60代男性と20代女性が新型コロナウイルスに感染したと報道された。

男性は青森市の医師で旅行中に東京で感染。その後自分の医院で診療し、高校の健診も担当したという。

一方の女性は茨城県在住の派遣型風俗業で、感染後茨城県から来青し30名ほどを接客。相手がどこの誰か分からないし、誰も名乗り出ていないという。つまり、感染している可能性の非常に高いひとが青森市に最低でも30名ほどいることになる。感染者が普通の顔ですぐ近くにいるとなれば防ぐのは容易でない。感染が急拡大することも考えられる。

ということで、青森市を活動拠点とするわが柳社がい

つ正常な活動に戻れるか全く分からない状況となった。

12月に「川柳忘年会」を開催する予定でいるが、果たしてどうなるか。

ところで、みなさん！お変わりありませんか。

それでは、カンテラに明かりを灯しましょう。

A群

野の花を抱え孤独に住む街へ 柳谷たかお
笑っているかな私のデスマスク 土田雅子
酒飲んで眠剤飲んで咲く桔梗 夏草ふぶき
おでん屋に取られた右のふくらばぎ 石橋芳山

パトカーがかぼちゃの馬車をスルーした ひらく

とりあえずゼロ回答としておくわ まきこ

涙を泳ぐこれが私の一行目 かんえもん

いなくてもあじさいの葉にカタツムリ ひとり静

辻褄が合わなくなってから笑う 三浦蒼鬼

三浦蒼鬼さん、この「笑う」は複雑ですね。「辻褄」が合っていれば笑う必要がないのですが、合わないんじゃないやねえ。「にっこり」でも「ゲラゲラ」でもない笑い方、「ははは」「ひひひ」とか「ふふふ」「へへへ」「ほほほ」とか「ハ行」の笑いが合うかも…。でも、そこを書かないところがミン。

B群

去年今年カラスに蹴られたのは吉か 吉田州花
昨日よりもっと憎んで空が焼け 斎藤泰子
家紋は曼珠沙華 鬼女にござります きさらぎ彼句音

それ公園の外れの一輪挿し 田久保亜蘭

孤独死だろう俎板だけ白い 月波与生

トマト熟してスイッチが入る 熊谷冬鼓

掘り上げるニンニク・お骨・夏大根 守田啓子

守田啓子さん、「掘り上げる」ものに「お骨」があるとは気がつきませんでした。そうだね、「ニンニクと夏大根を掘り上げる」じゃ啓子さんの句じゃないものね。「お骨」を「掘り上げ」別のお墓へ移すんだものね。にしても、意表を突かれました。

C群

更地ってこういうことがプレスリー 岩根彰子
位置情報が洩れている夏化粧 小野五郎
臍の位置ときどき変えにくる男 米山明日歌
あくまでもコップのフチと言ひ張るか 奈良一艘
黙りなさいただのババアじゃないんだよ 葉 閑女

岩根彰子さん、エルビス・プレスリーのファンですか？エルビスの歌う「ボーク・サラダ・アニー」っていいですよ。あ、関係ないか。でも、この句の「プレスリー」って広辞苑にも出てくる『プレスリー【Elvis Presley】アメリカの歌手・ギター奏者。黒人ブルースやカントリー音楽を吸収した独特の唱法で、ロックン・ロールの王様と呼ばれた。「ハートブレイク・ホテル」などヒット曲多数（1935～1977）ですよ。』で、この「更地」と「プレスリー」って関係あったのですか。プレスリーは、ストレスからくる過食症で医師から睡眠薬などを処方され、その薬の極端な誤用による不整脈で42歳という若さで亡くなっています。王様プレスリーでさえ亡くなってしまう、「更地」ってそういうことかな…。違うだろうな…。

小野五郎さん、この「夏化粧」って、五郎さんがキョロキョロ口鏡を見ながらやってるんじゃないよね（汗）五郎さん以外で、女性ってことだよ。にしても、「夏化粧」の「位置情報」とは恐れ入りました。しかも、その情報

こんな簡単なことに今気がついた（汗）あれ？「縁」が「フチ」より肉感的に見えてきたけど、これってイッソーマジック？とここでカタカナの「フチ」、披講はどうやってやるの？今度教えて下さい。

葉閑女さん、この開き直りはスゴイ。この句だけでもスゴイけど、一艘さんの「あくまでもコップのフチと言いつ張るか」の次に置くと、実際の会話から抜き出したセリフのようで焦ってしまいます（これ意識して並べたんじゃないくて、偶然こうなっただけですよ、汗）ところで、閑女さんは句に書かれているとおり「ただのババア」なんかじゃありません。小説家であり、某ペンクラブ会誌編集長であり、川柳家であって、むさし川柳教室の級長さんでもあり、もつといるんなこともしている。その閑女さんに「フチだの縁だの」なんてねえ…（汗）改めて口語パワーの凄さを知らされました。ああ、一艘さんと閑女さんの顔が見えるう。。。

が「洩れている」と来ましたか。「位置情報が」「洩れている」とどうなるんでしょう。ミサイルが飛んで来たりする？

米山明日歌さん、とてつもない男性とお付き合いなさってるんですね。普通の男だと「臍の向きときどき変えにくる男」と書かれるところですよ。「向き」だと、へそ曲がりや直してくれる優しい男になるんですが、「臍の位置」ってことになるかと次元が違います。場合によっては額の真ん中に臍を置かれてしまったりする。おとおお。

奈良一艘さん、「コップの縁」じゃなく「コップのフチ」と書いてありますね…。「フチ」って書かれると「縁」じゃないような気がして来ます…。あ！そうか「コップの縁」と書くべきなのに「あくまでもコップのフチと言いつ張るか」ってことなんだね。「縁」と「フチ」の違いを句にしていたんだ…。「あんたはコップのフチなんかじゃなく、コップのソコでしょ？」ってことではないんだね…。

川柳作品をお待ちしております。

■題「時事川柳」むさし選

時事川柳をひとり何句でも。郵便番号・住所・氏名・電話番号を明記のうえ下記へ投句して下さい。

【投句先】メール：aomori@yomiuri.com 「よみうり文芸」時事川柳係
ハガキ：〒030-0801 青森市新町2-2-4 新町二丁目ビル6階
読売新聞青森支局 「よみうり文芸」時事川柳係

【掲載】毎週火曜日／【賞】秀逸には図書カードを贈呈

読売新聞

深艘心理

胸の谷間よ聞きたい事はそれだけか

須藤しんのすけ

(月刊おかしょうき 5の月合併号)

胸の谷間とは、思春期以降の女性の両乳房の間に出来るV字状の空間である。とウイキペディアには載っている。男性の目はくぎ付けになり最も興奮してしまう空間：とは書いていないが、ま、そんなような空間(汗)

で、掲句であるが、作者は乳房とは表記しないで敢えてその空間を強調している。そもそも女性の乳房は(ホルモンがどうかという話は長くなるので割愛するが)普通の常識で言えば赤ちゃんと男性のためにある。その谷間という事は女性に於ける女と母との間の心、つまりは女性としての本能もしくは性さがという事なのでは

ないだろうか。

妻から「あなたまさか浮気なんてしてないでしょうね?」：(知らないふりをしてあげるから嘘でも否定してね)：という妻の本心を知りもしないで「まさかそんなことするわけではないだろ。俺の事を信用してないのか!」と内心少し焦りながら「聞きたい事はってそんなくだらない事なの?」としらばっくれている作者が見えて戯言は終わる。

「胸の谷間」の表現に深艘心理的には拍手を惜しまないが、さて：

おかしょうき川柳社会員雑詠集

無人駅

★無人駅7月月間賞

戦列を抜けてオムツを替えに行く

斎藤泰子

瀧尻善英【たきじりよしひで・青森県八戸市】

あの人もボクのファンだと聞いている
バターでいいから会ってくれないか
付け足しの人生だから面白い
号泣の噴火が雲を突き抜ける
泥船で津軽海峡漕ぐ蛙

先月号のお気に入り
黄ばんでも白は白だと言い張って まきこ
若く在りたい、若いつもりだと思っけていても、加齢は進んで黄ばむんですね…

田久保亜蘭【たくぼあらん・秋田県五城目町】

それ公園の外れの一輪挿し
脳天を刺しただけでは解らない
当面は地被植物として生きる
玄関先を開けなさい 日本海
下士官はキリストより柔かった

先月号のお気に入り
海底山脈ぼつんと夜のカフエ 小野五郎
ぼつんとミステリアスな真夜中を楽しんでいる。羨ましい。

月波与生【つきなみよじょう・宮城県仙台市】

二十四節気ごとにこいびとを埋める
螺貝がミンミンゼミになる輪廻
抱くたびに鶴にかえつていく女房
過ちも孵化させ鳥はにぎやかに
孤独死だろう俎板だけ白い

先月号のお気に入り
パピペポ語で怒るがよいか 奈良一艘
それは老化現象かも。

土田雅子【つちだまさこ・青森県青森市】

アメフラシ虹を担いでやって来る
ポケットのしじまに忍ばせる青春
起立礼着席礼を欠いたまま
ピトピトと雨垂れ訣れを紡ぎ出す
笑っているかな私のデスマスク

先月号のお気に入り
この春は耳がつかまりそうなのよ ひとり静
え！？その後どうなりました？

旅男【たびお・青森県五所川原市】

あたし天気になあれ あゝ人は水
瓶の底 合わせ鏡は腑に落ちぬ
巣籠りは居留守が凍るミヤオと泣け
ティッシュでは拭えぬ汚れ汚し合う
絶妙に絡んだ紐のエロティック

先月号のお気に入り
なんとなく淋しそうだね水たまり 柳谷たかお
ちよつと暗めで、淋しそうで、明るくしてないと長靴のいじめにあいそう。

田中薫【たなかかおる・青森県弘前市】

悪玉菌がワタクシを飲み込んでる
灯る芯ゆらゆら次元泳いでる
海に飲み込まれた魂 地平線
何でしょう何もかも深い 笑つちやう
困ったなあ見えないものが見えるのです

先月号のお気に入り
運命線引つ掻き傷に見えだした むさし
近頃手相を見ませんでした。

夏草ふぶき【なつくさふぶき・青森県青森市】

字余りで終わつちやダメと言う絵具
生き様が濃くなつていく迷い道
酒飲んで眠剤飲んで咲く桔梗
無印を選んでしまっしたたかさ
温かな人が許されている鍵

先月号のお気に入り

奈良一艘【ならいつそう・青森県弘前市】

北向きに揺らすベッドと刃の角度
もり蕎麦のもり蕎麦による攘夷論
その色を言つてしまえばミミズ色
雨だれのように死んでくアマリリス
あくまでもコップのフチと言ひ張るか

先月号のお気に入り
その次はゴム手袋が消えるのか 木村美映
巷ではコンドームが品薄だそうです。知らんけど…

鳴海賢治

【なるみけんじ・青森県つがる市】

見逃しがあつたコロナのおちよぼ口
飛行機が消えたタブレットが消えた
ダメなものはダメだと言つて寝坊かな
別人格でそぞろ歩きで明け暮れる
滄沓の涙は例年通りです

先月号の
お気に入り

助詞一字違つて首が回らない
ここで止まりました。おもしろい。

香田龍馬

ひらく

【ひらく・青森県蓬田村】

パトカーがかぼちやの馬車をスルーした
薄曇飛行機雲は出張中
トリケラトプスへ乗りたいですと右手上げ
バケツリレー「優しい時間」「温い光」
あついひはアイスをとる文法論

先月号の
お気に入り

母の手をしっかりと握る鬼ごっこ

城後朱美

ひとり静

【ひとりしずか・奈良県大和郡山市】

おしまいもこんなやさしい声ならば
帰るところあるからいいのほうがいいの
いなくてもあじさいの葉にカタツムリ
ご破算で願ひましては目には目を
目には青葉コロナブルーに花模様

先月号の
お気に入り

やはつた言つてはつたと落椿
落椿はおしゃべりだったんだ。

土田雅子

まぎ

【まぎこ・青森県青森市】

三時には的は外さぬつもりです
四股踏んで踏んでアイスになる時間
とりあえずゼロ回答としておくわ
初夏の候ひとり悪態ついてます
ポヨポヨと自粛生活する金魚

先月号の
お気に入り

ハイどうぞと頭痛の種を渡される
柿の種みたいにカリカリ食べちゃいましょう。

辻井洋子

まみどり

【まみどり・青森県黒石市】

揺れるだけ揺れても決めている答え
柔軟なふりして時間稼ぎなど
風穴をあけてもなびかない議論
焦らしても無駄ですタンポポの綿毛
追いつめてごめんなさいね泣けばいい

先月号の
お気に入り

似ています受け容れること諦めること
だと思っけど……事と人次第だな。

斎藤泰子

三浦蒼鬼

【みうらそうき・青森県黒石市】

有難いことに元気に老いばれる
辻褄が合わなくなつてから笑う
定位置に戻らぬ雑草の種だ
身の程を知らずに心太になる
除菌した利き手礼儀に反します

先月号の
お気に入り

向山タエ子

【むこうやまたえこ・青森県青森市】

石部金吉にハニートラップをしかける
七（シチ）だろうが七（ナナ）だろうが六の次
二日酔いの太陽がルーと笑い過ぎ
コロナ菌が押しつけてくる愛国心
自粛疲れ無茶苦茶とろろ掻き回す

先月号の
お気に入り

前略のようにも立ち去つた。あいつめ、笹田かなえ
この方が諦めがつけれそうな気がしました。私は次の
恋探します。

村井規子

【むらいのりこ・青森県大鰐町】

集まれる事は幸せだったのね
「独立国」吠えてみたつて傘の下
日本にちゃんと男がいた昭和
作句するそれは私の一人旅
小説を読んで色んな人になる

先月号の
お気に入り

村上あつこ【むらかみあつこ・青森県青森市】

数億のあのマスクはどこへ行つた
これからもずっと会いたくないコロナ
不便な生活が普通の生活？
マイナンのバーで丸裸になる私生活
モリカケ桜蓋をしたまま知らんぷり

先月号の
お気に入り
冷えた伸レンジでチンと温める
温めて、元に戻ると良いですね
辻井洋子

村上てる【むらかみてる・青森県青森市】

若菜つむあと五年ほど生きたくて
白木蓮スカートまいて風に舞う
子は巢立ち風吹きぬける家にいる
幸せな色で生きたい桜草
さあきめた昨日は昨日今朝は晴れ

先月号の
お気に入り
母とふたり春二月を見送った
お母さんは何歳になられたのですか。私も娘と二人でお
ります。心境は親の立場になってシーンと胸にきました。
土田雅子

葉閑女【ようかんによ・青森県青森市】

聖女魔女小面般若若きようはどれ
マドンナの宝石聴いて聞くだけで
火星より木星が好き魔女だもの
野の花を摘んで少女に帰る午後
黙りなさいただのババアじゃないんだよ

先月号の
お気に入り
ベルガマスクに降り積む月の鱗片
五郎さんは美術の先生だと聞いていたけど音楽も詳しい
小野五郎
んですね。

吉田州花【よしだしゅうか・青森県青森市】

去年今年カラスに蹴られたのは吉か
ニアミスのカラスの羽音どう逃げる
見つめあうカラスはヘタレだと聞くが
子育て中町のカラスになれるよう
本日は固型石鹸の日和

先月号の
お気に入り
さかならしくなるまで待ってくれた海
なかなか海にはなれない
守田啓子

守田啓子【もりたけいこ・青森県青森市】

選ばれて選んでそして回れ右
右向け右右向け右に続く雨
掘り上げるニンニク・お骨・夏大根
天の川なら一艘の舟を出す
満ち潮になるもう少し揺れている

先月号の
お気に入り
どこまでを削れば丸になりうるか
この先は余計なもの削って小さな丸がいいと思います。
奈良一艘

柳谷たかお【やなぎやたかお・青森県外ヶ浜町】

海満ちてまたもらい泣きしてしまふ
さえずりが聞こえるまでになりました
野の花を抱え孤独が住む街へ
横笛を吹くと集まりだす野鳥
賑やかな場所嫌いですがマボウシ

先月号の
お気に入り
運命線引つ掻き傷に見えだした
引つ掻いて良い運命に
むさし

吉田吹喜【よしだふぶき・青森県弘前市】

変身して闘うなんてもうやめる
さあ今だ 星がチャリンという合図
音楽のように瞬く星に乗る
超純水 それじゃあんまりつまらない
六十一歳 凄いヌードが撮れそうだ

先月号の
お気に入り
友達のまんまサラサラしたカレー
そうなのよね、友達って サラサラのカレーなのよね。
佐藤雅秀
うんっん。

吉見恵子【よしみけいこ・青森県青森市】

サイダーの泡溢れくる人恋し
書を捨てて町に出てみる モノクロに
いのちとや蟻はいちずに働いて
ことさらに眠れぬ夜の赤い月
雨降れば雨にゆだねる木の緑

先月号の
お気に入り

米山明日歌【よねやますか・静岡県長泉町】

向日葵の一端を 正常位でみる
辻褄があつてないから愛でしよう
句読点ずらせば 言葉甘くなる
実はって尾っぽを二つだしてみる
臍の位置ときどき変えにくる男

先月号のお気に入り

冷たく手を這わせ真昼を闇にする
まさるで、官能小説のよう。経験あります。
きさらぎ彼句吾

石橋芳山【いしばしほうざん・島根県松江市】

ボトルシッポお前の自由とはなんだ
火にくべる嘘から立ち込める冷氣
破断面みじめなほどにすねた顔
垂れ流しだらうか人が死んでいく
おでん屋に取られた右のふくらはぎ

先月号のお気に入り

安藤なみ【あんどなみ・愛知県瀬戸市】

手放すとキメてヤメてキメてヤメて
音声が若いシンバルとシンバ
最近は見えないスゴイ霊柩車
英国の本にこつくりさん発見
サア呼吸を止めてインナーマッスル

先月号のお気に入り

真夜中の私の目ん玉黒くない
よくよく考えた結果 透明がいいな。
夏草ふぶき

岩根彰子【いわねあきこ・京都府京都市】

不安なんだね身重の八咫鳥よ
更地つてこういうことかプレスリー
篇無い汗かくでないわ上がり框
カタログをセールスマンの欵ちゃん走り
言い負けないわ晩柑の肝斑に

先月号のお気に入り

別別の椅子に座って聞く話
長椅子じゃなくて良かった。岩根彰子
米山明日歌

小野五郎【おのごろう・青森県青森市】

夕焼けの鉄塔今頃どのあたり
位置情報が洩れている夏化粧
耐水性あるというバー名はスマイレ
一斉に走り始める交雑種
半減期四十年のポリバケツ

先月号のお気に入り

かんえもん【かんえもん・神奈川県横浜市】

涙を泳ぐこれが私の一行目
花一輪君の身体のだ真ん中
この女タガを外してやってきた
にっこりの奥に潜みし練り辛子
その淵にこびりついてる鰐である

先月号のお気に入り

曖昧なメロディ進路指導室 須藤しんのすけ
昔を思い出しました。確かに曖昧なメロディが流れてまし
た。曖昧なメロディと進路指導室の組み合わせが素敵です。

きさらぎ彼句吾【きさらぎあくあ・青森県弘前市】

又ねとあつさり話の腰を折る
家紋は曼珠沙華 鬼女にござります
又ねの又がおぼろなまんま月欠ける
五感研ぎ澄ます鎌首をもたげて
弱いなつてズルいなつて気づく ポコッ

先月号のお気に入り

ジャムの壺洗って水音を入れる
まだ傍に置いて貰えるんだ、それも水音を孕んで。
徳長 怜

熊谷冬鼓【くまがいたろうこ・青森県青森市】

トマト熟してスイッチが入る
いい仕事してる紫陽花一抱え
急ぎ立てて大きい箱を渡される
プルトップぱこつ だるまさんが転んだ
行ってきたことにしているヒメジオン

先月号のお気に入り

別別の椅子に座って聞く話 米山明日歌
敢えて別別の椅子と書かれると。緊張感が…。

斎藤泰子【さいとうたいこ・秋田県大館市】

昨日よりもつと憎んで空が焼け
立ち位置へ親族という車間距離
仏具磨く この世に残る者として
ゾワゾワと自律神経うるさいぞ
季は動く嘆いてばかりいられない

先月号のお気に入り
振るだけの見送るだけの手で終わる きささぎ彼句書
・・・だけの手で終わらなかつたら、と思ってしまう。小説のページをめくっていくように想像が膨らんでいく。

笹田隆志【ささだたかし・青森県青森市】

ふしだらな時計をつけてゲームする
一点鎖線を人生図から削除する
満月の円周率が凍つてる
去る者は追わないいつも柿の種
どろどろにウィルス塗つたテロリスト

先月号のお気に入り
禍いがひとつ出たホイの親父の血 奈良一艘
この難解さが川柳なんでしょうか。

須藤しんのすけ【すとうしんのすけ・青森県弘前市】

得意気に愛想笑いを真似る鳥
吉田くんからこつそり貰う(仮)
ブログ更新覗いてはいけません
シャネルがねナイスバディって言つてたの
坂道の途中小さな嘘を置く

先月号のお気に入り
だらしのない国です三島由紀夫様 村井規子
安部公房様。ベクトルは人それぞれですが、私もそう思っています。

むむし【むむし・青森県蓬田村】

サギゴケと話がしたい股関節
ノイバラの告白癖と青い空
満開のブタナの海の認知症
シロツメクサのどれに電話をかけようか
頭の中にペンペン草が生えてきた

城後朱美【じょうあけみ・福岡県八女市】

悩んでる友に人生教えられ
ぐちゃぐちゃになつても聞かぬアドバイス
相手は変わらぬ自分が変わるのだから
手放してしまえば楽になれるのに
いま何をすべきかわからない友よ

先月号のお気に入り
何もしないヒトは失敗しないのだ 向山タエ子
だよ。みんな失敗して大人になった。

Sin【しん・青森県外ヶ浜町】

込み入つた事情で松岡修造のていで
村西とおるまでと言われれば陽性です
家に居ろつたり、避難しろつたり
デッサンの裸女の複雑なハニートラップ
耳元で歪んだ愛の咀嚼音

先月号のお気に入り
期待して何度も脚を組み直す米山明日歌
それは、世の股方だけが期待している行為ではなかったのです。

お得な会員サービス、
あります。

家族割

既会員の三親等以内であれば、
年会費が **50%OFF!!**

学生さんなら、

年会費が **66%OFF!!**

学生割

by おかじょうき川柳社



家にいよう

▼投句者 (47名・到着順)

- | | |
|---------------|---------------|
| 斉尾くにこ (鳥取県) | 齋藤泰子 (秋田県) |
| 雪上牡丹餅 (神奈川県) | 滋野さち (青森県) |
| 麦乃 (佐賀県) | 笹田かなえ (青森県) |
| 中村暁代 (岩手県) | 土田雅子 (青森県) |
| 尾崎良仁 (千葉県) | まきこ (青森県) |
| 吉松澄子 (愛媛県) | 鳴海賢治 (青森県) |
| 旅男 (青森県) | 奈良一艘 (青森県) |
| 柳本恵子 (奈良県) | 笹田隆志 (青森県) |
| 峯島 妙 (大阪府) | 山崎三千代 (岡山県) |
| 米山明日歌 (静岡県) | 葉 閑女 (青森県) |
| 西沢葉火 (長野県) | きさらぎ彼句吾 (青森県) |
| 宮井いずみ (大阪府) | 徳長 怜 (徳島県) |
| 岸井ふさゑ (大阪府) | 夏草ふぶき (青森県) |
| 岩根彰子 (京都府) | 藤井智史 (岡山県) |
| 紫の園 (東京都) | 三好光明 (愛知県) |
| 四ツ屋 いずみ (北海道) | まみどり (青森県) |
| 田中薫 (青森県) | 郷田みや (愛媛県) |
| 安藤なみ (愛知県) | 青砥和子 (愛知県) |
| かんえもん (神奈川県) | 一帆 (秋田県) |
| 村井規子 (青森県) | 坂本清乃 (青森県) |
| 村上あつこ (青森県) | 守田啓子 (青森県) |
| 吉田吹喜 (青森県) | 熊谷冬鼓 (青森県) |
| むさし (青森県) | 田久保亜蘭 (秋田県) |
| 小野五郎 (青森県) | |

おかじようき川柳社 7月ステイホーム誌上句会

おかじようき川柳社月例会

宿題『巣』

愛知県名古屋市長 瀧村小奈生 選

【佳作】

巣の後検索してはなりませぬ
 フクロウの巣箱フクロウしかいない
 蜘蛛の巣を避けて左に曲がったら
 巣穴から見比べている落とし穴
 海に見える巣箱へ転居いたします
 巣の中で月を孵化したのは誰だ
 二階から巣立つたはずのあいいうえお
 ステイホーム藪をつついて蛇を出す
 せっかくの巣箱でもねが住み着いた
 空の巣が睡たそうに揺れている
 さざれ波帰巣本能呼び覚ます
 お隣は空き巣家族といます
 他人の巣にお邪魔しているライン飲み
 蜘蛛の巣に掛かった漢字かな交じり
 静脈のカーブあたりにある巣箱

- | | |
|--------|--------|
| 熊谷冬鼓 | 熊谷冬鼓 |
| 笹田かなえ | 笹田かなえ |
| 齋藤泰子 | 齋藤泰子 |
| 西沢葉火 | 西沢葉火 |
| 守田啓子 | 守田啓子 |
| むさし | むさし |
| 一帆 | 一帆 |
| 葉 閑女 | 葉 閑女 |
| 宮井いずみ | 宮井いずみ |
| 小野五郎 | 小野五郎 |
| 四ツ屋いずみ | 四ツ屋いずみ |
| 吉松澄子 | 吉松澄子 |
| 峯島 妙 | 峯島 妙 |
| 鳴海賢治 | 鳴海賢治 |
| 米山明日歌 | 米山明日歌 |

雛の毛が散らばっている自粛解除
 冬眠が終わって巣ごもりに移る
 古巣にて親子まごまごまみれてる
 クラウドにささやかな巣を置いてある
 母はまだ君から巣立つ気はないわ

【五客】

巣穴から出る体温を二度上げて
 蜘蛛の巣に夕べの月が絡まって
 本題を逸れて雀の巣を探す
 帰っても無駄よ私はいないから
 巣にいるよハムカツサンド買ってきて

【人位】

ドロップのハッカ出ました巣立ちます

【地位】

捨てた巣が着払いにて追ってくる

【天位】

巣立ちゆくスタチ見送るキリンレモン

◆人位の句。サクマの缶入りドロップですよね。ガラガラボンで出てきたハッカ。ちよつといやだけど、もう巣立つしかないなと思わせる◆地位の句。捨てたくても、捨てたはずでも、捨てさせてもらえないもの。存在はリアル。「着払い」が断然いい◆天位の句。駄洒落か！と思いつながら見過ごせない。しゅつわと果汁の飛び散りそうな生のスタチはフレッシュだし、キリンレモンには母を感じてしまふ。愛も哀愁もじゅうぶん。

宿題『澄む』

神奈川県横浜市 かんえもん選

【佳作】

透明になるまできつと混ざりあう
 ネコという半透明な時間帯
 握り返した手にせせらぎが舞い降りる
 熱中症のボウフラのわく浄水池
 アルバムの澄んだ瞳が責めてくる
 嘘つばちみたいに青い君の空
 枯れきつて澄んでいきます骨の音
 澄みきつた時に十万両流す
 涼やかにう音ひびかせ始めます
 澄んだ息している皮膚は久しぶり
 澄んだ目でいようと泥を吐いている
 万策が尽きたピュアモルトを開ける
 上澄みのところで君と逢う5月
 味噌汁が澄んできました別れましょ
 土砂降りもいいな 私が澄んでくる

まみどり
 笹田かなえ
 土田雅子
 笹田隆志
 葉 閑女
 宮井いずみ
 米山明日歌
 藤井智史
 四ツ屋いずみ
 西沢葉火
 むさし
 葉 閑女
 米山明日歌
 尾崎良仁
 吉田吹喜

へらへらと上澄みだけで生き延びる 岸井ふさゑ

母がいて里の空気が澄んでいる 山崎三千代

澄んだ目であなたサイズの穴を掘る まきこ

加齢中 清酒になつてゆくようだ 吉田吹喜

覗かないでまだ澄んでない部位がある 守田啓子

【五客】

レモン一滴 水溜まりにストロー 安藤なみ

卵円孔に森の芽吹きを聴く 徳長 怜

澄み切った空を一枚もらいます 郷田みや

じつとしていれがいいのよ澄んでくる 郷田みや

くすぐると綺麗な音を出す位牌 守田啓子

【人位】

雑踏の中でまつ毛の落ちる音 まみどり

【地位】

透明になるまで抱いてくれますか むさし

【天位】

濁るわよまつびらごめん澄むなんて まきこ

◆作品を送っていたいてびっくり。おおいなあ・さらに句群はいろんな要素に満ちている。気を引き締めて選をする。「天」「濁るわよ」に心を鷲掴みにされ「まつびらごめん」でノックアウトされました。心を直撃する口語体の句に弱いです。「地」脳髓が痺れ、絞ってきた声が聞こえました。こんなことを言われたらまたノックアウトです。「人」澄むと云うのは、こういうことなんだと納得できました。句から伝わる緊張感がたまりません。

宿題『自由詠』

青森県蓬田村 むさし選

【佳作】

アベアキエニアベノマスクヲツケサセロ
 機嫌よく喋るトマトでしゃらくさい
 柔らかな亀裂背中にひとつ持つ
 カラメルを焦がしたような愛し方
 アジサイのイキナリなんて信じない
 しゃぼん玉弾けるように消えたいね
 ギンギン繁茂右も左も酸性土壌
 相続は放棄 ふんわり泳ぐ金魚
 「ダメ。ゼツタイ。」の横にある喫煙所
 ん になりなさい御辞退はできません
 天国と地獄を分けている襖
 丁寧に洗う喪の足袋喪の耳の裏
 結婚をしない言い訳考えぬ
 甘噛みの記憶が抜けぬ太い指
 後出しで負けてくれるのわかつてた

村上あつこ
 宮井いずみ
 まきこ
 峯島 妙
 郷田みや
 旅 男
 滋野さち
 守田啓子
 雪上牡丹餅
 徳長 怜
 徳長 怜
 岩根彰子
 中村暁代
 山崎三千代
 峯島 妙

聴いたことあるかい妻の割れる音 尾崎良仁

デリケートゾーンしずかに天城越え 吉松澄子

どうしようもない人つて好きだなあ 田 中 薫

スーパリーのひよんなところで渡す月 青砥和子

大声で泣いて解決してしまえ 吉田吹喜

【五客】

ちようどいい窪みだここで泣いておく 斎藤泰子

麵つゆの濃さで仕上げる委任状 宮井いずみ

満腹になるまで続く黙秘権 まみどり

真つ直ぐにもう歩けない片乳房 一 帆

ぶるーずのサビで内臓ぶちまける 奈良一艘

【人位】

パトライト止まる卵固ゆでになる 柳本恵子

【地位】

飾り塩振つて旧知に逢いに行く 熊谷冬鼓

【天位】

落ちている軍手どうやら仲間だな 尾崎良仁

◆人位の句。パトカーの屋根でグルグル回っているやつが止まれば半熟からハードボイルドになるのか。卵料理つてむすかしいね◆地位の句。「飾り塩」は、魚を焼くとき尾ビレや背ビレなどに塩をまぶしてヒレが焦げないように、美しく仕上がるようにするもの。そんなことをして行くところが「旧知」だなんてシラツとしていておもしろい◆天位の句。「落ちている軍手」なんか誰も拾わない。それだからこそ「仲間」つて、分かるなあ◆

十和田たてがみ川柳会6月誌上旬会

【投句者】磯島雅男・漆館ミノリ・久保あざみ・木村奈生美・佐藤まさあき・瀧尻善英・福田芳詔・村上昌子・高田幸柳

■課題 『ぼっかり』 高田 幸柳 選

【平抜き】

町並みのサラ地に前は何屋さん
宿題句ぼっかり浮かぶ今日の空
わた雲をぼっかり浮かべた青い空
ポツカリと浮かんだ雲はわさお君
子が二人巣立ちぼっかり空いた部屋
ぼっかりと心に穴のペットロス
大空に一滴となる雲ばかり
大切にしたいぼっかり空いた時間
ぼっかりと穴空いたよな子の巣立ち
拉致リボンぼっかり浮かぶ北の空

漆館ミノリ
木村奈生美
福田 芳詔
久保あざみ
木村奈生美
福田 芳詔
村上 昌子
村上 昌子
瀧尻 善英
佐藤まさあき
磯島 雅男

【秀逸】

娘が嫁ぎ心ぼっかり穴が空き
ぼっかりと空いた記憶の穴辿る

瀧尻 善英
佐藤まさあき

【特選】

朝ドラの最終回へロスの穴

瀧尻 善英

■課題 『ほどほど』 木村奈生美 選

【平抜き】

ほどほどの幸福でいいそれが今
ほどほどに生きて可もなく不可もなく
やじろべえ程々保つやつとこさ
ほどほどを越えたキッチンつまみ喰い
酒量聞く医者はいつでもほどほどに
欲をせずほどほどがいい我が暮らし
亡母の味マネのできないさじ加減
ほどほどがいいと戦は蚊帳の外

漆館ミノリ
瀧尻 善英
村上 昌子
村上 昌子
佐藤まさあき
佐藤まさあき
高田 幸柳
高田 幸柳
高田 幸柳

ほどほどにしろと鏡に諭される

瀧尻 善英

老いの風ほどほど浴びる影法師

磯島 雅男

【秀逸】

ほどほどでやめられなけりや依存症

福田 芳詔

ほどほどの付き合い良いねネット上

磯島 雅男

【特選】

ほどほどのストレス生きるバネになり

瀧尻 善英

■課題 『本心』 瀧尻 善英 選

【平抜き】

幼子の本心無心それがいい
黒人は地球人です平等だ
沖繩の本心読まぬ安倍政権
本当は急いでいるのかタツムリ
付度を期待されてる咳払い
正直に話したはずが落とし穴

漆館ミノリ
久保あざみ
福田 芳詔
村上 昌子
高田 幸柳
高田 幸柳

【特選】 すっぽりと本心抜けたラムネ玉

磯島 雅男

本心は隠したままの別れ歌
本心を丸ごと秘めた日記帳

高田 幸柳
木村奈生美

外からは「心の扉」開けられぬ
本心を語ればくちびる青くなる
本心は刺繍の裏で曝け出す
信頼が出来て本心 語りだし

佐藤まさあき
村上 昌子
磯島 雅男
佐藤まさあき

【秀逸】

十和田たてがみ川柳会8月誌上旬会

【課題】(各題三句詠)『溝』高田幸柳選／『自ら』木村奈生美選／『裸ぎ』瀧尻善英選 【投句先】〒034-0212 十和田市大字米田字桜平72 高田幸柳 【締切】8月15日(土)までにご投函ください。

川柳吟行会「ぽ」

6月句会

熊谷冬鼓

今回の課題は「音」。14名の参加者には集まった句の一覧表から3句選び、選評をつけて返信してもらう。短くても選評を書くという作業は選んだ句に向き合う時間である。同じ句を選んでいても読みはそれぞれ。選評を読み比べてみるのもなかなかである。

【7点】特×2・佳×3

皿二枚落とす この世に戻される 守田啓子

【こあき】二枚の皿が、ぶつかりあいながら落ちる。大きな音が聞こえた。現実にも目を向けなくてはと思う。【五郎】皿を二枚としたこと、落とすにとどめたこと、さらには一字空けにしたことが効いている。衝撃の激しさを感じさせる。【旅男】番町皿屋敷は、一枚で地獄に行きました。【麦乃】まだあの世へ行くには早すぎたのかも

【5点】特×2・佳×1

ト音記号だけのエンディングノート 月波与生

【いずみ】この人のエンディングノートにはソの位置しか書かれていない。後は散骨でもしてね的シンプルな終活である。【冬鼓】ト音記号を書いて始まる楽譜。書き出してはみたものの進まない。開いたままの白紙のページが見える。【啓子】右手だけ・さびしいね。うまい。

5円玉チャリン明日もまた来ます 岩根彰子

【啓子】口語体のこの軽さがいい。人生はすべて「めぐり合わせ」。だと思ふことに。【文音】下手な選評は不要だと思いました。このような題詠を目指したいと思えます「チャリン」【こあき】人も物も出会いはご縁。5円玉もチャリンも軽くて楽しい。

【4点】特×1・佳×2

梅雨の闇タイヤが雨を轢いてゆく 宮井いずみ

しれません。もう少し現世でがんばりましょう。【彰子】兼題に音も無く寄り添う作品。

廃棄場のダルマストーブから校歌 滋野さち

【与生】ダルマストーブが校歌を歌うなんてシユール。教室でダルマストーブがガンガン燃えていた頃こそ日本が元気だった頃でその元気が今は廃棄場にしかないという切ないえれじい。【恵子】「音」から校歌を発想させたのだろう。ダルマストーブに繋がったのが良かったと思う。【麦乃】ノスタルジー。【冬鼓】校歌としたことで粗大ゴミに物語がうまれた。【五郎】機智にとんだ表現、映像が鮮明である。

【3点】佳×3

ハーブティ蝶の羽音のみほして 吉見恵子

【紫の園】蝶の軽やかな僅かの羽音もハーブティに添えて、美味しく飲んでる姿が、作者の穏やかな気持ち伝わってくる作品。【文音】ティータイムのハーブを摘んでいる情景が浮かびました。その時一緒に蝶と戯れ羽音も摘んだのでしょうか。美しい初夏ですね。【隆志】蝶の羽音のみほすなんてステキです

【2点】特×1

笹藪をこいで宅配便が現われる 小野五郎

【さち】時宜を得た句で、笹藪からが面白い。上の句が

8なのが気になった。「を」を取った方がすっきりするのでは？

アイロンの蒸気でシュッと意地っ張り 宮井いずみ

【麦乃】カッコいい覚悟。

カンディンスキー画布にちらばる狂詩曲 麦乃

【隆志】カンディンスキーと狂詩曲をむすびつけたのがいい

死にたくて死ねなくて見る観音像 月波与生

【彰子】「音」で観音像が出て来る驚き、きつと確かな答えが返ってきます。

真夜中の音を飲み込む消防車 宮井いずみ

【旅男】一人で抱える大きな夜をいつも飲み込まれています。ダイナミックで静かでしたたまして、好きな句

情けない音しか出ない気がします。

枝を切る伸びないように伸びるよに 渡邊こあき

【彰子】伸びるよにが釣り鐘の響きの如く伝わってきました。【恵子】枝を切るという行為は、正にこの句のとおりでと思った。

【1点】佳×1

ソーシャルディスタンスどこで水の漏れる音 渡邊こあき

【五郎】現今の状況をタイミングよく表現した。

誤字脱字どんどん音痴になってゆく 熊谷冬鼓

【恵子】誤字脱字からおとろえていって、いろんな音痴になっていく、老化の様子が表現できている。

メヌエット100から7を引いている 月波与生

です。

【2点】佳×2

それならばギシギシと音出しなさい 守田啓子

【与生】それならばが不気味。人間の体はギシギシと鳴らない。【こあき】言いたいことがあるなら、声を出すべき。ギシギシ：無理やりでも。

アラートが鳴った近づき過ぎですよ 渡邊こあき

【与生】いわゆるコロナ川柳であるが、コロナから離れても成立するのがいい。【さち】お尻からのアラートには即対処します

ファの音の出ないマスクが2枚ある 熊谷冬鼓

【文音】アベノマスクが手元に届いた時の思いでしょうか。「ファ」の音もでないという表現が私にもぴったりでした。【さち】「ラ」とかきれいな音でなく「ファ」と

【いずみ】ゆっくりでも間違わずに引ければいいが。

ザワザワと脳下垂体変ホ長調 岩根彰子

【啓子】オキシトシン出して明るい調べ♪

スクワットぎしぎし三十七度五分 小野五郎

【いずみ】年寄りの冷や水。スクワットで発熱！

初夏の窓うたた寝してる音符たち 麦乃

【紫の園】それほど暑くない初夏の窓に風が流れ、幾つもの音符が気持ちよく、こっくりしている様が微笑ましい句。

除夜の鐘澄んだ宇宙に響く音 紫の園

【旅男】消防車の句と同様の気分です。波長が合いました。

▼ 2020.08.11 ✕ 第30回青森県民文化祭・文芸コンクール(川柳部門)

【締切】令和2年8月11日(火)必着に変更になりました【投稿先】〒038-1214 藤崎町大字常盤字四西田13の31 佐藤雅秀 TEL 090-8254-5561 【題】「雑詠」1人3句(ハガキに限る)(裏面は作品のみ記入)【選者】内山孤遊・田鎖晴天・岩崎雪洲・佐藤ぶんじ・千島鉄男・田沢恒坊・八木田幸子・むさし・瀧尻善英・成田我楽【参加料】無料(応募は1部門に限る)【表彰】川柳知事賞1人・川柳準賞3人・川柳佳作賞10人【入賞発表】10月上旬、県内新聞三紙での発表をもって入賞通知に代えさせていただきます。【投稿】投稿作品はすべて自作・未発表であること。二重投稿は固くお断りします。同一作品、酷似作品があった場合、入選・入賞を辞退していただくことがあります。ハガキは表面に郵便番号、住所、氏名(必ずふりがなをつける。ペンネームの場合は本名も付記)、電話番号を記入のこと。【表彰式】令和2年11月7日(土)青森市新町「アラスカ」TEL 017-723-2233【入選作品集】希望者は84円切手5枚を同封し、〒030-0913青森市東造道2の5の6 文芸コンクール実行委員会 千葉禮子宛 郵送で申し込むこと TEL 090-6781-7422【担当】青森県民文化祭・文芸コンクール実行委員会

□ 2020.10.31 ✕ すずむし全国誌上川柳大会

【課題】「道」(二句詠で一口)(字結び・詠み込み可)【選者】(15名共選)岡崎守(北海道)・千島鉄男(青森)・熊谷岳朗(岩手)・伊東マコ(山形)・鎌田京子(宮城)・横村華乱(福島)・篠田東星(栃木)・島田駱舟(千葉)・安藤紀楽(東京)・荒川八洲雄(愛知)・小島蘭幸(広島)・高畑俊正(愛媛)・平田朝子(熊本)・浅利猪一郎(秋田)・渡辺松風(秋田)【投句料】1,000円で一口(郵便小為替または現金)(何口でも可)【投句用紙】所定用紙、便箋用紙、原稿用紙。作品・住所・氏名(雅号)・本名・郵便番号・電話番号を明記してください*参加者全員に参加賞を進呈します【賞】大賞(1名)入選句入ブロンズ像・すずむし誌12ヶ月分・あきたこまち20キロ/準賞(2名)入賞句入ブロンズ像・すずむし誌6ヶ月分・あきたこまち10キロ/4~10位-すずむし誌6ヶ月分・あきたこまち5キロ/11~20位-すずむし誌3ヶ月分あきたこまち3キロ/21~50位-すずむし誌3ヶ月分【採点】前抜(100句)1点/十秀2点/三才3点【締切】令和2年10月31日(消印有効)【発表】令和2年「川柳すずむし」誌12月号(12月22日頃)【投句及び問合せ先】〒018-1724 秋田県南秋田郡五城目町東磯ノ目1丁目7-11 湖東印刷所内 すずむし全国誌上川柳大会係 宛 Tel018-852-2430 Fax018-855-1055【主催】川柳すずむし吟社

第25回

杉野十佐一賞
作品募集

課題/締切

「(^o^)/」(2句詠) / 2020.9.30 ✕

選者

徳永政二(滋賀県/「びわこ番傘川柳会」所属)
なかはられいこ(岐阜県/「ねじまき句会」所属)
樋口由紀子(兵庫県/「晴」編集発行人)
広瀬ちえみ(宮城県/「杜人」所属)
小林茂子(岡山県/第24回杉野十佐一賞大賞受賞者)
むさし(青森県/おかじょうき川柳社 代表)

投句料

1,000円 (発表誌をもって投句料領収したものとさせていただきます/締切日まで投句料が入金された場合のみ作品を受け付けます)

応募方法

※誠に申し訳ありませんが、今回より郵送・FAXでの応募は受け付けておりません。

【ウェブサイトからの応募】

<http://okajoki.com/tosaichi/contest/>へアクセスし、作品応募フォームから必要事項を記入して送信してください。送信後、締め切り日までに下記口座に投句料1,000円をお振り込みください。

【メールで直接送信する場合】

メール本文内に「作品(2句まで)」「郵便番号」「住所」「氏名または雅号(ふりがな)」「電話番号」を明記し、件名に「第25回杉野十佐一賞」として、下記送信先までメール送信してください。

<送信先アドレス: moriko@okajoki.com >

送信後、下記口座に投句料1,000円をお振込みください。

振込先: 郵便振替 No.02280-6-43112 口座名 おかじょうき川柳社

発表

月刊おかじょうき 2021年1月号の誌上において発表。
サイト掲載: 2021年1月中旬

賞

上位入賞者に青森県特産品を贈呈。

諸権利について

基本的に著作権は作者に帰属しますが、出版権、雑誌掲載権など、作品を自由に利用できる権利は、おかじょうき川柳社に帰属します。

その他注意事項

※作品は応募者の自作で未発表のものに限ります。※応募された原稿に関するお問い合わせや、審査結果の問い合わせには応じられません。※個人情報については、許可なく他の目的で使用することはありません。

■会費拝受【6月受付分】 ※太字は新会員

中村誠子・須藤しんのすけ・斎藤早苗（以上弘前市）/ 葉閑女・宮古中子・夏草ふぶき（以上青森市）
/ 石橋芳山（島根県）/ 郷田みや（愛媛県）/ **宮井いずみ**（大阪府）/ 越田清四郎（東京都）/ 高田幸柳・
木村奈生美（以上十和田市）/ 三浦蒼鬼（黒石市）

■おかじょうき川柳社会員募集中！

会員ならびに当誌購読希望の方は、下記の口座までお振り込み下さい。

→郵便振替 No.02280-6-43112 口座名：おかじょうき川柳社
→会費：6,000円（1年分）

おかじょうき川柳社 お問い合わせ先

●投句以外のことについてはこちらへ●

熊谷冬鼓 toko@okajoki.com FAX.017-752-3759
〒039-3502 青森市久栗坂浜田 87-2

●投句全般についてはこちらへ●

守田啓子 moriko@okajoki.com

--- 終着駅 Sin ---

◆Netflixで配信されている「愛の不時着」というドラマが大人気になっていると聞いて、ステイホーム中に全話鑑賞した。もともと、嫌韓派なので、韓国のドラマなんか観たくもないという姿勢なのだが（笑）、北朝鮮の生活が描かれているという噂だったので、観てみようとなった。おおまかなあらすじを言うと、韓国大企業の跡継ぎを指名された未婚が、趣味のパラグライダーを飛んだ際に、竜巻に飲み込まれ、北朝鮮に不時着するところから始まる。それを見つけた北朝鮮の軍人とのラブストーリーへと展開していく物語である。まあ、韓流ドラマの大好きなおばさまがたの胸キュンする場面は置いて、北朝鮮の生活文化が描かれているシーンが興味深かった。脱北者のアドバイスで製作

されたということなので、事実なのだろうが、発電量が不足し、しょっちゅう停電するので、冷蔵庫が使い物にならず、タンクとして使っていたり、闇市のようなところで、韓国からの密輸品が人気だったり、村全体が盗聴されていたりするから、恐ろしい◆もうひとつ気になったのが、韓流ドラマを好きな人には当たり前のことかもしれないが、日本語と同じ発音の単語が多いこと、多いこと。「家族」「約束」「記憶」「靴」「高速道路」「憲法」などなど、びっくりするぐらいである。もともと韓国語も漢字由来のためという理由だと言われているが、日本統治時代の名残だとすると、慰安婦や徴用工のことがなんとなく頭に浮かんで、少し考えさせられた部分もあった。観ていない方はぜひ観てほしい◆Sin

おかじょうき川柳社 作品募集案内

▼2020.08.19 「川柳吟行会 ぼ」8月句会

【投句締切】8月19日（第3水曜日）【題・投句数】「島」3句【投句先】
toko@okajoki.com 熊谷冬鼓宛 *吟行不可につき投句による句会とします。参加者全員
による選・選評をメールで交換。後日月刊おかじょうきに掲載。メール交換できる方ならどなたでも参加可。

□2020.08.20 おかじょうき会員雑詠集「無人駅」5句（10月号分）

【締切】8月20日15時必着【提出】雑詠5句、お気に入り1句（最新号からお好きな作品1句とそれに対する簡単なコメントも記入）、柳号、居住地【掲載】
10/10発行号【提出先】moriko@okajoki.com 守田啓子宛【ネットからの投句】
http://www.okajoki.com/toku/mujineki.html

□2020.09.05 おかじょうき川柳社本社9月句会

【投句締切】9月4日（金）15時【宿題】（各題3句詠）『組』四ツ屋いずみ（北海道）選/『添える』笹田かなえ（青森県）選/『自由詠』Sin（青森県）選【投句先】
moriko@okajoki.com 守田啓子宛【ネットからの投句】http://www.okajoki.com/toku/
郵便・FAXでの投句不可 ■会員以外の方も参加可、掲載号呈（住所記載がない場合は掲載号の発送ができません。投句フォーム利用時は席題欄に住所・方書き明記）

□2020.09.16 「川柳吟行会 ぼ」9月句会

【投句締切】9月16日（第3水曜日）【題・投句数】「石」3句【投句先】
toko@okajoki.com 熊谷冬鼓宛 *吟行不可につき投句による句会とします。参加者全員
による選・選評をメールで交換。後日月刊おかじょうきに掲載。メール交換できる方ならどなたでも参加可。

□2020.10.03 おかじょうき川柳社本社10月句会

【投句締切】10月2日（金）15時【宿題】（各題3句詠）『他』藤田めぐみ（東京都）
選/『溜まる』斎藤泰子（秋田県）選/『自由詠』奈良一艘（青森県）選【投句先】
moriko@okajoki.com（守田啓子）【ネットからの投句】http://www.okajoki.com/toku/
郵便・FAXでの投句不可 ■会員以外の方も参加可、掲載号呈（住所記載がない場合は掲載号の発送ができません。投句フォーム利用時は席題欄に住所・方書き明記）

